

寄贈図書リスト

Excursions in Astronomical Optics

Lawrence Metz 著, 152 p, 7520 円, Springer,
教科書

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

すばる望遠鏡 研究員

1. ポストドク研究員 1~2名
2. (1) 国立天文台 大型光学赤外線望遠鏡推進部
(2) 米国ハワイ州 すばる望遠鏡ヒロ仮事務所
3. 光学赤外線天文学, 天文工学
5. (1) 決定後, できるだけ早い時期
(2) 3年間
6. 天文学ないし関連分野での博士号
(1997年3月取得見込みも含む)
8. 1996年12月27日
9. (2) 日本側の問い合わせ先: 国立天文台 海部宣男
Tel 0422-34-3610 Fax 0422-34-3608

ただし応募書類は英文にて下記の宛先に送付, 1996年12月27日必着のこと。その他の詳細については, 下記の英文の原文を参照下さい。

POSTDOCTORAL RESEARCH & SUPPORT ASTRONOMER

Subaru Telescope Project

National Astronomical Observatory of Japan

1 or 2 positions for three years, located in Hilo, Hawaii. **Minimum Monthly Salary:** \$2,856.00 U.S. Participates in the construction & performance verification of the Subaru telescope and its instrumentation. Pursuit of independent astronomical research is expected (25% research time). The successful candidate can expect to be transferred to the observation team of

the Subaru telescope after its completion which is expected in the year 2000. Other duties as assigned. **Minimum Qualifications:** Ph.D. in astronomy or closely related field, completed by March 31, 1997. Experience observing at optical/infrared wavelengths including use of two dimensional detector arrays. Experience using astronomical software, including packages for instrument control & astronomical data reduction. Ability to undertake independent program of observational research. Good written & oral communication skills; able to interact well with both Japanese & English speaking staffs. Possess a valid driver's license and able to operate 4-wheel drive vehicles. Must pass a high altitude physical examination & work at high altitudes (14,000 feet). **Desirable Qualifications:** Previous involvement with astronomical instruments including instrument design, development, and maintenance. Experience with image processing and analysis. Experience with computer controlled mechanisms. Inquiries: Prof. Kyoji Nariai, 1-808-935-4067. **Closing Date:** 1/2/27/96 **Recruitment No.** 96-273.

Application Requirements: Send cover letter (note Recruitment No.) with narrative on your qualifications for the position, resume with salary history, the names and phone numbers of three work related references, and copy(ies) of diploma(s) and/or certificate(s) used to qualify for position to: **Director of Human Resources, Research Corporation of the University of Hawaii, 2530 Dole Street, Sakamaki Hall, D-100 Honolulu, HI 96822, USA. Facsimile 1-808-956-5022.**

東京大学理学部天文学教育研究センター
木曾観測所 研究員

1. 研究員1名
2. (1) 木曾観測所
(2) 長野県木曾郡三岳村
3. シュミット望遠鏡を用いた観測天文学
4. 木曾観測所では, 全国からの天文研究者と所員が協力して, シュミット望遠鏡を用いた広視野撮像天文学の研究を進めています。最近では, 大型フォーマット CCD カメラ, 近赤外カメラによる研究が始まり, 望遠

鏡の制御，データ取り込みも一新されつつあります。今回の公募では，全国共同利用施設としての当観測所の任務を十分に理解し，シュミット天文学の研究，観測装置及びシステムの開発を積極的に推進して下さる方を希望します。

5. (1) 1997年4月
(2) 原則として2年(3年まで延長を認めることもある)
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 履歴書 (2) 研究歴及び研究計画 (3) 論文リストと主要論文別刷
8. 1997年1月31日(金)必着
9. (1) (2) 〒397-01 長野県木曾郡三岳村 10762-30
東京大学理学部天文学教育研究センター木曾観測所
所長 吉井 譲
TEL: 0264-52-3360 FAX: 0264-52-3361
10. 封筒に「応募書類」と朱書き簡易書留でお送り下さい。
11. 教務補佐員としての給与を支給

研究会・集案案内

名古屋大学「星の会」天文学講演会 —「ハッブル」が見た宇宙—

ハッブル宇宙望遠鏡は迫力のある宇宙の画像をもたらしています。最新の観測データは何を意味するのか，第一線で活躍する2人の天文学者が解説します。

講演：

- 第1部：星の誕生と死
福井康雄(名古屋大学大学院教授)
- 第2部：銀河と宇宙
池内 了(大阪大学大学院教授)

日時：1997年1月5日(日)

午後1時30分より午後4時30分まで(午後1時開場)

場所：名古屋国際センター・別棟ホール
(名古屋市・地下鉄桜通線国際センター駅下車)

定員：300名

参加費：500円(ただし星の会会員，高校生以下は無料)

申し込み方法：参加ご希望の方は，必ず下記まで官製往復ハガキにて12月9日(月)必着でお申し込み下さい。

定員を越えた場合は，抽選とさせていただきます。

宛先：〒464-01 名古屋市中種区不老町
名古屋大学理学部天体物理学研究室内
星の会事務局

「ハッブルが見た宇宙」係

TEL: 052-789-2839

主催：名古屋大学「星の会」

後援：名古屋大学なんてん天文台

第2回すばる望遠鏡

ファーストライトシンポジウム

開催期日：平成9年1月8日(水)～10日(金)

場所：国立天文台(三鷹)講義室

内容：国立天文台が米国ハワイ州ハワイ島マウナ・ケア山頂に建設中の，口径8.2mを有する大型光学赤外線望遠鏡(すばる望遠鏡)の試験観測開始(ファーストライト)が，平成10年度に予定されています。この会議は，今年1月に開かれた第1回のファーストライトシンポジウムでの成果をふまえ，その後に国立天文台より提示されたファーストライト・試験観測のスケジュールと方針についての説明，開発中の各観測装置について，立ち上げ・試験観測・共同利用運用へのスケジュールの提示，そして，すばる望遠鏡とその観測装置を使った試験観測研究計画を検討・議論する場として開かれます。

参加申し込み，プログラムなどの詳しい案内は，下記宛にお問い合わせください。またこのシンポジウムのための予備資料も下記にて配布しています。

〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 関口 和寛

Fax. 0422-34-3710

fsl@optik.mtk.nao.ac.jp

地球惑星科学関連学会合同大会

日時：1997年3月25日(火)～28日(金)

場所：名古屋大学東山キャンパス

(〒464-01 名古屋市中種区不老町)

内容：地球惑星科学に関する固有セッションのほか，共通セッション(計21)およびシンポジウム(計8)が開催されます。そのなかで宇宙科学にも深く関連する項目としては以下のものがあります。

共通セッション：

- ・新世紀の宇宙塵研究：課題と展望
- ・太陽系小天体の新しい描像
- ・地球惑星科学における画像解析
- ・地球惑星科学と計算機シミュレーション
- ・宇宙物質の構造と進化
- ・地球惑星物質の物理化学

シンポジウム：

- ・火星生命存在の可能性：物質科学的，生物学的，惑星科学的側面からのアプローチ
 - ・太陽系探査の世界的流れと日本の果たすべき役割
- また，今回は講演発表のほか，例年に増してポスター

発表を重点的に取上げることとし、場所を体育館に集中し、より多くのディスカッションが得られるよう企画しております。

上記以外も含め共通セッションの発表申し込みの締切は1997年1月7日です。

申込先、問い合わせ先：

〒113 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部地球惑星科学教室
平原靖大
TEL: 052-789-2523
FAX: 052-789-3033
e-mail: a40125a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

4. 申請：申請書は事務局あてに請求して下さい。
申請書の提出締切は平成9年1月14日必着
5. 問い合わせ先：天文学振興財団事務局
〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内
TEL: 0422-34-3659
FAX: 0422-34-3690

研究助成

天文学振興財団 1997 年度研究助成公募

当財団では、国立天文台の事業支援を通じて天文学の振興を図っております。当財団の1996年度の研究助成は松原英雄（名大）及び佐々木実（下関市大）の2氏2件に対して計200万円を交付しました。

1997年度の研究助成希望者を下記の要領で公募します。
1996年11月1日
天文学振興財団 理事長 古在由秀

1. 公募種目
 - (1) 研究助成
 - a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者、原則として35歳以下
 - b. 助成：総額200万円とし、助成件数は1～2件程度
 - (2) 国際交流に対する助成
 - a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1カ月以内）に平成9年4月以降参加する研究者
 - b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部（実績平均1件当たり17万円程度）とし、助成件数は数件程度
 - (3) 国際研究集会参加に対する助成
 - a. 対象：平成9年4月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会（10日以内）に参加、発表する研究者
 - b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部（実績平均1件当たり15万円程度）とし、助成件数は数件程度
2. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、平成9年3月頃に決定予定
3. 報告：研究助成は、年後末、それ以外の助成は、帰国後1カ月以内に報告書を提出していただきます。

山田科学振興財団研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会あてに、下記内容の1997年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

記（推薦要領抜粋）

1. 援助の対象：自然科学の基礎的研究（実用指向研究は対象外）。
 2. 援助の金額：1件当たり100～500万円の援助を10件。
 3. 推薦件数：1推薦者ごとに2件以内。
- 申請用紙をご入用の方は、学会事務室までお申し出下さい。申請書は、1997年2月28日までに下記あてに提出して下さい。
- 宛先 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
社団法人日本天文学会

会務案内

日本天文学会 1996 年秋季年会報告

1996年秋季年会は10月3日(木)～5日(土)の3日間、水沢市文化会館、および図書館の5会場を使用して開催した。口頭(10分)、口頭(3分)+ポスター、ポスターによる発表講演数はそれぞれ210, 144, 59である。なおポストデッドラインペーパーはなかった。各会場の座長には次の方々をお願いした。今回の参加者は588名と盛況で、亀谷氏を中心とする国立天文台水沢観測所の方々のご努力で大変順調に行われた。

会場	A	B	C	D	E
1日目					
午前	秋岡真樹	木下 宙	立松健一	谷口義明	吉澤正則
午後1	柴崎清登	斎尾英行	山下卓也	中井直正	奥村幸子
午後2	一本 潔	柴田晋平	花輪知幸	深沢泰司	末松芳法
2日目					
午前	鷲見治一	小笹隆司	吉川 真	山田 亨	家 正則
午後1	北井礼三郎	石田俊人	坪井昌人	佐々木実	茂山俊和
3日目					
午前	坂尾太郎	河合誠之	中川貴雄	田原 讓	嶋作一大
午後1	浜部 勝	松元亮治	阪本成一	横沢正芳	花見仁史

〈記者会見〉秋季年会の前日 14 時から水沢市図書館会議室で記者会見を行い、次の点について解説した。

トピックス

- 1) 百武彗星の 3 次元解析 - Hourly Parallax Method
征矢野隆夫 (東京大学木曾観測所), ほか
【関連講演: L10b】
- 2) 獵犬座 Y 星を取り囲む中空ダストシエルの検出:
ISO からの成果第一報
泉浦秀行 (国立天文台岡山観測所), ほか
【関連講演: N24a, N23a】
- 3) 晩期型星 RT Vir に付随する水メーザーの VLBI 観測
今井 裕 (東北大学/国立天文台水沢観測所),
ほか
【関連講演: N40b】

〈臨時総会〉2 日目午後 4 時から行われた。平成 7 年度決算報告が行われ承認された。さらに定款改定の認可の現状が報告され、細則について議論された。引き続き、来年夏に開催される第 23 回 IAU 京都総会についての説明がなされた。総会出席者は約 130 名であった。

〈天文教育フォーラム〉3 日目午後 4 時から、天文教育普及研究会との共催による天文教育フォーラム、『大学入試における理科 (地学) の位置付けと高校地学 (天文) 教育』が開催された。縣 秀彦氏、小田桐茂良氏、伊藤芳春氏、中村泰久氏らの現状報告、意見交換が行われた。

〈懇親会〉2 日目午後 6 時より水沢平安閣にて行われ、約 200 名の参加者があった。(株) 五島プラネタリアム、(株) エイ・イー・エスからのご芳志もあり大変盛り上がった。

〈公開講演会〉10 月 6 日 (日) 午後 1 時より水沢市文化会館 Z ホールで行った。

講師および演題は

「天の川の地図作り」

講演者: 国立天文台教授 笹尾哲夫

「銀河とブラックホール」

講演者: 国立天文台助教授 中井直正

であった。笹尾氏の講演では VLBI 観測によって天体までの距離を測ることの重要性と、水沢を中心に進められている VERA 計画について、中井氏の講演では、ブラックホールの基礎から、宇宙の様々なスケールでのブラックホールの最新の観測が、ビデオをも交えて興味深く話された。

田中培生 (年会実行委員会)

日本天文学会 1997 年春季年会の開催と講演の申し込みについて

(重要な変更事項がありますので必ずお読み下さい。)

春季年会は 1997 年 3 月 20 日 (木) から 22 日 (土) までの 3 日間、東京大学駒場キャンパスにて開催します。今回もプログラムは月報には掲載いたしませんので、予稿集および WWW 上でご覧下さい。1 月 31 日までに予稿集の代金 (2000 円) を天文学会に送付していただいた方には印刷でき次第郵送いたします。

【講演の申し込み】

講演の申し込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、1 月 22 日 (水) までに必着するよう規定の申込用紙 (本号にはさみ込み) を用いてお送りください。

非会員の方からの e-mail での予稿も受け付けます。e-mail での投稿受付は、1 月 16 日 (木) より 22 日 (水) とします。e-mail での予稿の書き方、送り方、およびフォーマットは tennet を通して連絡します。tennet から直接情報を入手できない方は tennet 加入者にお聞きください。さらに、WWW にも掲載します。直接学会事務局へのお問い合わせにはお答えできません。郵送と e-mail との二重の申し込みは固くお断りします。

さらにプログラムを WWW 上に掲載します。e-mail 投稿による予稿本体も、プログラムと同様に WWW 上に掲載しますので、支障のある方は前もってお申し出下さい。

講演は「口頭発表 (講演 10 分)」, 及び「口頭発表 (3 分) + ポスター発表」にて行いますので、希望の発表形態を選択して下さい。口頭発表 (3 分) の質疑応答は数講演を一括して時間を設けて行います。また、筆頭講演者の複数講演が可能です。ただし、2 つ目以降の講演は「口頭発表 (3 分) + ポスター発表」とします。

Post-deadline papers も受け付けます。これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circular に掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、3 月 14 日 (金) まで受け付けます。講演方法はポスター発表となります。

講演分野の分類は以下の 15 通りです。

位置天文学, 天体力学, 太陽系, 太陽, 恒星, 星形成, 星間現象, 銀河, 活動銀河核, 銀河団, 宇宙論, 地上観測機器, 飛翔体観測機器, 情報処理, 天文教育・その他

なお申し込みの分野の分類に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入下さい (例: 恒星(内部振動))。

講演申込み・発表に際しては特に次の事項を厳守して下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 連名の場合、発表者を講演著者の筆頭におく。
3. 口頭発表においては、オーバーヘッドプロジェクターを使用すること。
4. スライド及びビデオプロジェクターの使用（10分講演のみ可能）を希望される方は年会申込み用紙に○印をつけて下さい。
5. 郵送による申し込みの際、原稿をセロテープ、メンディングテープなどで貼りつけることはせずに、必ず糊をお使い下さい。

なお、近年、講演のキャンセルが増えています。理由のいかんにかかわらず、これ以上キャンセルが増えると、年会の運営に支障をきたしますので、慎重にお申し込み下さい。

講演申込者で年会出席旅費の補助を希望される会員は1月22日(水)までに必着するよう日本天文学会に申し込んで下さい。ただし申込みのできる人は、1996年度会費納入済みの方で、連名の場合でも筆頭講演者であり、正式の給与を受けていない特別会員学生会費納入者に限ります。尚、旅費は年会々場にてお渡し致しますので印鑑をご持参下さい。年会終了後にはお渡しできません。

年会は、主として会員の研究発表や情報交換等を通じて天文学の発展に寄与するものです。会員外の方で講演を希望される方には、申込みの際に入会をお薦めしております。

【参加費等の支払い方法】

講演の申し込みには講演登録料が必要です。ただし、会員の種別によらず、1講演につき講演登録料が免除となります。

年会参加費	3,000円（特別学生会員は2,000円）
年会講演登録料	3,000円
年会予稿集	2,000円

- 1) 年会参加費及び年会講演登録料は年会会場でお支払いください。
- 2) 年会講演登録料は1講演あたりの金額です。
- 3) 予稿集代は会員会費には含まれていません。1年分（2回分）を前納していただいている方には郵送いた

します。さらに、今回は、1月31日(金)までに、はさみこみの振込用紙で2000円を送金していただいた方には印刷でき次第郵送いたします。

【お問い合わせ】

年会中に、集会のため会議室の利用を希望される方は前もって、東京大学 江里口良治までご連絡下さい。

電子メール：eriguchi@namite.c.u-tokyo.ac.jp

電話番号：03-5454-6610

ファックス：03-3465-3925

田中増生（年会実行委員会）

天文学会会期中の保育室設置のお知らせ

天文学会年会実行委員会では、97年春の年会期間中に会場内に保育室を設置することを検討しています。詳しい内容と申し込み手続きは、天文学会のWWWのホームページ(<http://www.tenmon.or.jp/meeting/>)に掲示します。WWWがアクセスできない方は、電子メールで、保育室担当の加藤万里子(mariko@educ.cc.keio.ac.jp)まで請求するか、あるいは天文学会事務室までFAXでご連絡下さい。

加藤万里子（年会実行委員会）

訂正

先日発行されました「天文月報第89巻11号（1996年11月号）」において、表紙の図のタイトルに誤りがありました。お詫び致しますとともにここに訂正させていただきます。

誤 L1151-IR5

正 L1551-IRS5

先日発行されました「天文月報第89巻11号1996年11月号」の人事公募結果において誤りがありました。お詫び致しますとともにここに訂正させていただきます。

誤 美里天文台研究員 正 美星天文台研究員

公募の掲載号：第89巻11号

川端哲也（宇都宮大学教育学部大学院）

着任時期：1996年9月9日着任

編集委員 関口和寛（編集長）、末松芳法、田代 信、辻本拓司、中川貴雄、林 左絵子、平野尚美、宮坂正大
 平成8年11月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
 定価700円（本体680円）発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 電話（0422）31-1359（事務室・月報）5488（欧文編集）5487（FAX専用） 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のホームページ <http://www.tenmon.or.jp>